

想像力豊かに！



世の中は、表と裏でできている！唐突な話から入りましたが、結構うなずけるところもあるのではないのでしょうか。では、このことを、人の性格で考えてみましょう。

「いい加減な人」⇔「大胆で豪快な人」

「飽きっぽい人」⇔「好奇心旺盛な人」

「気性が激しい人」⇔「情熱家」

如何でしょう。人となりを同じようにみても、これだけイメージの違いがあります。これは、その人をプラスのイメージで観ているか、マイナスのイメージで観ているかの違いとも言えそうです。この事例に限らず、私たちは、ついつい一方向から見て物事を判断しがちです。

ところで、SNS でのいじめやゲーム漬けが社会問題となり久しいのですが、一向に解決の兆し無し。私達は、ついつい、家庭での約束や学校からのある種の規制をどうするのか…。と言う方向に向きがちです。ところが、ある方と、子供の育ちについて話していたとき、ハッとさせられることがありました。

「うちの子は、〇〇と出会って、生活が一変しました。それまでは、ゲーム漬けで、イライラして攻撃的で、言うことも聞かないことが多く…。しかし、今では、夢中になれるものができ、そのために時間を有効に使おうとしているようです。また、イライラすることもなくなり…。」

なるほど、親（大人）の役目は、子供が夢中になれることを見つけてやること…。本当に大事なことに気づかされ、感謝の気持ちで一杯になりました。この世で唯一平等な物は何か。それは、誰の下にも1日は24時間の時間が与えられていること！

「ゲームしている時間なんてもったいない！」そんな子を育てていきたいと心から思っています。そんなの無理？いやいや、「明日はきっとできる」「やるかやならいかではなく、どうやったらできるかを考える」そんな気持ちで取り組まなければ。だって、地球温暖化の問題でも、たった一人の勇気ある少女の行動が世界を動かす巨大な潮流を作ったのですから…。

サポーターのフェアプレー！

4年に一度、世界中が熱くなる World Cup ラグビー。日本初開催で大いに盛り上がっていますね。ところで、今大会でも話題になるのかな？観客のマナー。



と言うのも、日本サポーターの振る舞いが全世界の人達に感銘を与えた World Cup サッカーがあまりにも印象的で…。日本サポーターが、試合に負け落胆していたにも関わらず、応援で持ち込んだ紙吹雪などのゴミを綺麗に片付けてスタンドをあとに…。そのことが、新聞やテレビで大きく報道され、日本サポーターは、その年のユネスコ・フェアプレー賞を受賞。「特別なことをしようとしたわけではありません。ゴミ拾いも最初から予定していた行動ではなかった」「当たり前のことをしただけ」とサポーター代表。その謙虚さにも重ねて大きな拍手が送られたのは有名な話。

そう言えば、我が「新生チーム千代田西部小」にも、こんな素敵な出来事がありました。体育大会後、職員がテントを片付けていた時、さり気なく「手伝いましょう」と保護者の方が…。その輪が広がり、沢山の保護者の方に手伝っていただきました。お陰様で、片付けを行っていた上級生も、予定より早めに下校することができました。サポーターのフェアプレーと同じ輝きをもった保護者の方々に出会い、嬉しさと胸がいっぱいになりました。なぜなら、子供達は、大人の後ろ姿を見て育つのですから…。そんな、素敵な姿を見つめていた子供の心は、どれだけ誇らしい気持ちが溢れたことでしょうか。心から感謝！



第2回神埼市

クリーン作戦！

10月27日(日)が基準日です。環境問題、美しい古里を自分たちの手で！課題意識と自主自発

の心を育てる絶好の機会です。

ぜひぜひ、ご一緒に参加を！

